資料１

議題１

あんしんケアセンターの事業評価を通じた機能強化について

評価方法

令和4年度あんしんケアセンター業務について下記の方法により評価を行った。

1　国指標に基づく評価

（１）国作成の市町村指標による評価結果（参考資料1-1）
「千葉市」による自己評価

（２）国作成のセンター自己評価指標による評価結果(参考資料1-2）
「あんしんケアセンター」による自己評価

2　市独自指標に基づく評価

（１)「千葉市」が独自に作成した指標（※1）による評価結果（参考資料1-3)
「あんしんケアセンター」による自己評価

※1 :センター業務のうち国指標には含まれていない事業・取組みに対し令和元年度の本部会にて本市の独自指標を検討・作成し、令和２年度から「市独自指標」として導入

1　国指標に基づく評価結果

【参考資料1-1参照】

（１）国作成の市町村指標による評価結果(千葉市の自己評価)

項目		令和５年度	【参考】令和４年度	
		市(%)	市(%)	全国(%)
組織・運営体制等	①組織・運営体制	９２．３	９２．３	７６．４
	②個人情報の管理	１００．０	１００．０	８９．８
	③利用者満足度の向上	１００．０	１００．０	８７．７
個別業務	①総合相談支援	１００．０	１００．０	８５．９
	②権利擁護	１００．０	１００．０	８８．４
	③包括的・継続的ケアマネジメント支援	１００．０	１００．０	７０．０
	④地域ケア会議	８４．６	８４．６	６８．５
	⑤介護予防ケアマネジメント・介護予防支援	１００．０	１００．０	７０．２
事業間連携（社会保障充実分）		１００．０	１００．０	８５．７

※上記は評価指標の大項目・中項目ごとに評価結果（実施率）を記載

1　国指標に基づく評価結果

【参考資料1-2参照】

（２）国作成のセンター自己評価指標による評価結果（センターの自己評価）

項目		令和５年度	【参考】令和４年度	
		市(%)	市(%)	全国(%)
組織・運営体制等	①組織・運営体制	９６．７	９７．０	８４．３
	②個人情報の管理	１００．０	１００．０	８７．９
	③利用者満足度の向上	１００．０	１００．０	９６．５
個別業務	①総合相談支援	１００．０	１００．０	９１．５
	②権利擁護	１００．０	１００．０	９１．０
	③包括的・継続的ケアマネジメント支援	１００．０	１００．０	８２．０
	④地域ケア会議	１００．０	１００．０	８４．０
	⑤介護予防ケアマネジメント・介護予防支援	１００．０	１００．０	８３．２
事業間連携（社会保障充実分）		１００．０	１００．０	８６．９

※上記は評価指標の大項目・中項目ごとに評価結果（実施率）を記載

2　市独自指標に基づく評価結果

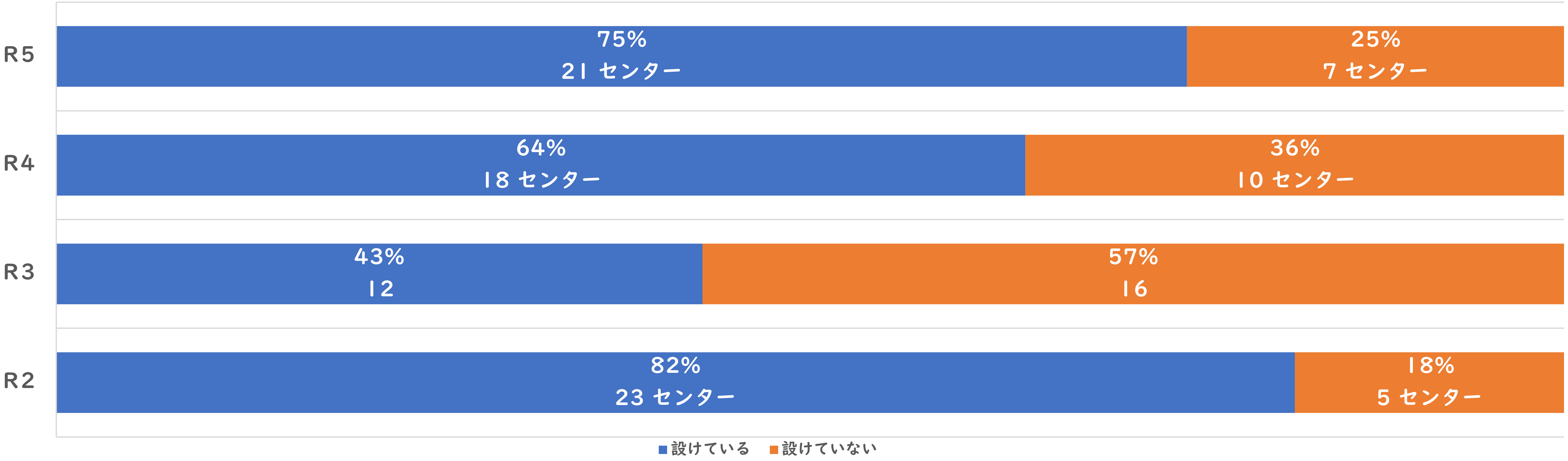
【参考資料1-3参照】

（１）「千葉市」独自の指標による評価結果（センターの自己評価）

総合相談支援

【Q１】

圏域内での相談の機会を確保するために、**センター以外の場で相談ができる機会(出張相談など）**を定期的に設けているか。



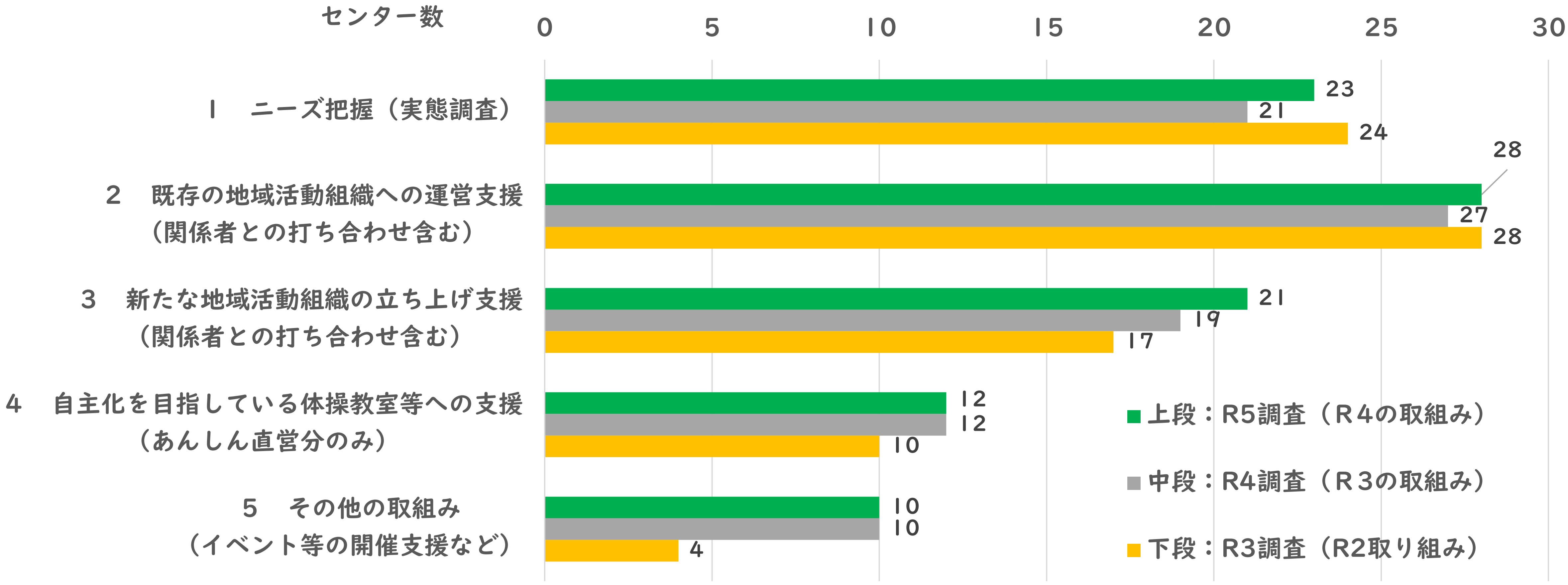
（考察）広い会場の確保の難しさや外出控え等による相談者数の減少により、出張相談を中止していたセンターが多かったが、令和4年度は公民館やいきいきプラザ、自治会館等でのミニ講話や体操教室が一部再開し、その前後に出張相談を併設するセンターが複数見られた。利用者からは「早めに相談ができた」「わからないことを気軽に聞くことができた」などの声が聞かれ業務の効率化も図れた。

一般介護予防事業

【参考資料1-3参照】

【Ｑ４－１】

介護予防や社会活動参加に資する多様な**地域活動組織の把握、育成及び支援**において**どのような取組み**を行っているか。



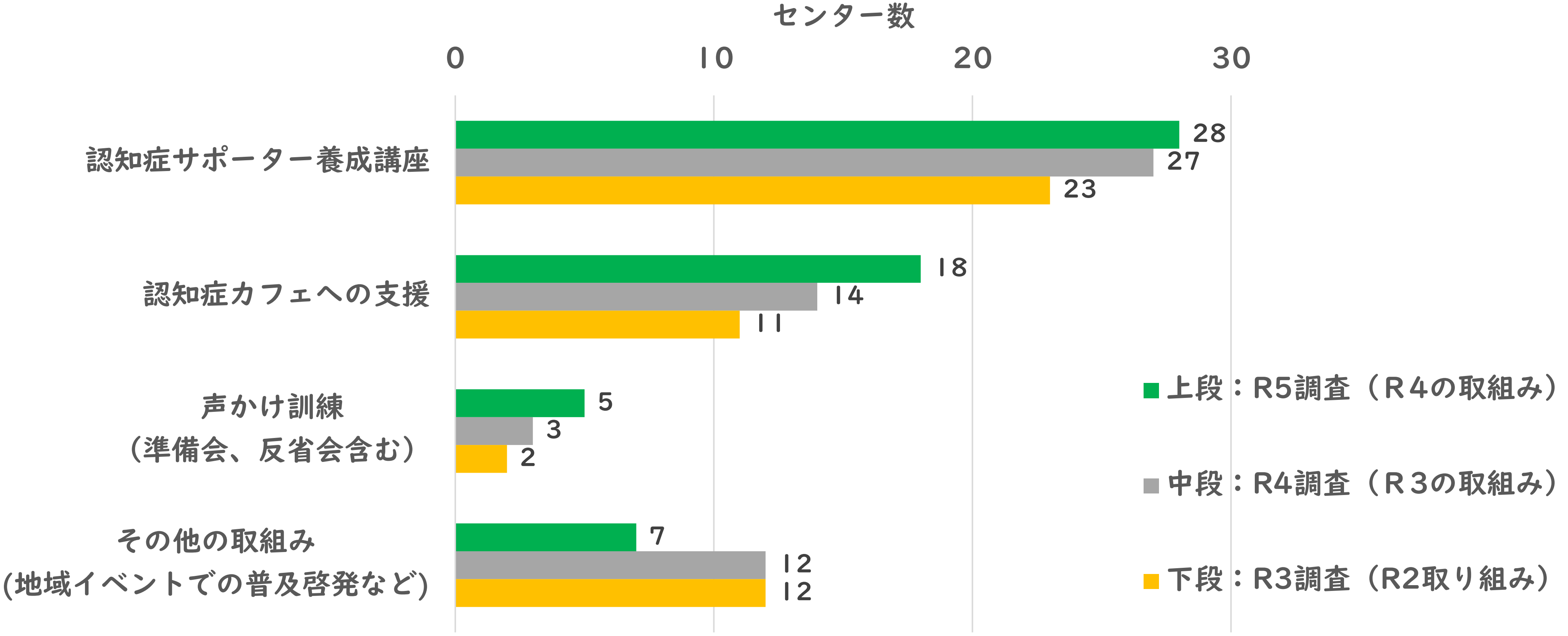
（考察）長期化するコロナ禍において地域活動が継続できるよう、民生委員や社協地区部会、自治会等の会合に積極的に参加し、情報収集や顔の見える関係づくりに取り組んだ。地域活動組織の運営支援のほか、住民主体の通いの場など新たな団体の立ち上げをバックアップした。

認知症施策の推進

【参考資料1-3参照】

【Ｑ６－１】

関係機関・関係者との連携により**認知症の人の見守り支援**や地域における**認知症に関する理解を深めるための普及啓発**においてどのような取組みを行っているか。



（考察）地域住民や企業、地域の小中学生等を対象に認知症サポーター養成講座を開催し認知症への理解の促進を図った。また、多くのセンターがコロナ禍で中止していた認知症カフェの再開や新たなカフェの立ち上げを支援した。民生委員やケアマネジャーなどとの協働による認知症の人の見守り支援の再開を検討・実施したセンターも増え、認知症施策の推進に積極的に取り組んだ。